

2011年1月5日

株式会社 テクノ・システム・リサーチ

URL <http://www.t-s-r.co.jp>

東京都千代田区岩本町 3-7-4 TSRビル

代表取締役社長 藤田正雄

## TSR - Press Release

# PC 資産管理ソフトウェア市場は今後も拡大！

～ 2009年のPC資産管理ソフトウェア市場は342億円。

2014年まで年平均9.5%の高成長を継続～

株式会社 テクノ・システム・リサーチは、

『2010年版クライアントPC資産管理市場の競合ベンダー分析』を発表しました。

現在、PC 資産管理ソフトウェア市場への参入ベンダーは 30 社(OEM 展開ベンダーも含む)を超えており、2008 年後半からの不況下においても同市場は成長を続けている。また、SaaS での展開や PC 以外の IT 機器を含めた資産管理を新たにスタートするベンダーも出現し始めており、提供形態、及び管理対象物の幅が広がり始めている中で、今後も以下の点において市場の拡大が見込まれている。

- ・ Windows 7 への対応
- ・ IFRS への対応
- ・ ソフトウェア資産管理
- ・ 中小企業の意識の高まり

Windows XP のサポートが 2014 年に終了することから、7 への移行が徐々に本格化していく。大半のユーザーは OS のみの入れ替えではなく、PC 自体の入れ替えによって対応をしている状況であり、そのタイミングに管理ツールも見直しがされる傾向が強い。

グローバル企業を中心に IFRS への対応が始められており、グループ全体での資産管理体制の統一化が図られている。その影響を受け、グループ全体を通して統合的な資産管理システムを構築する必要性が高まっており、より大規模に対応可能な PC 資産管理ツール、あるいは SaaS を利用することで資産として所有しない管理体制の構築が求められ始めている。

Microsoft Office をはじめ、ソフトウェアライセンスの監査が積極的に行われている影響から、その

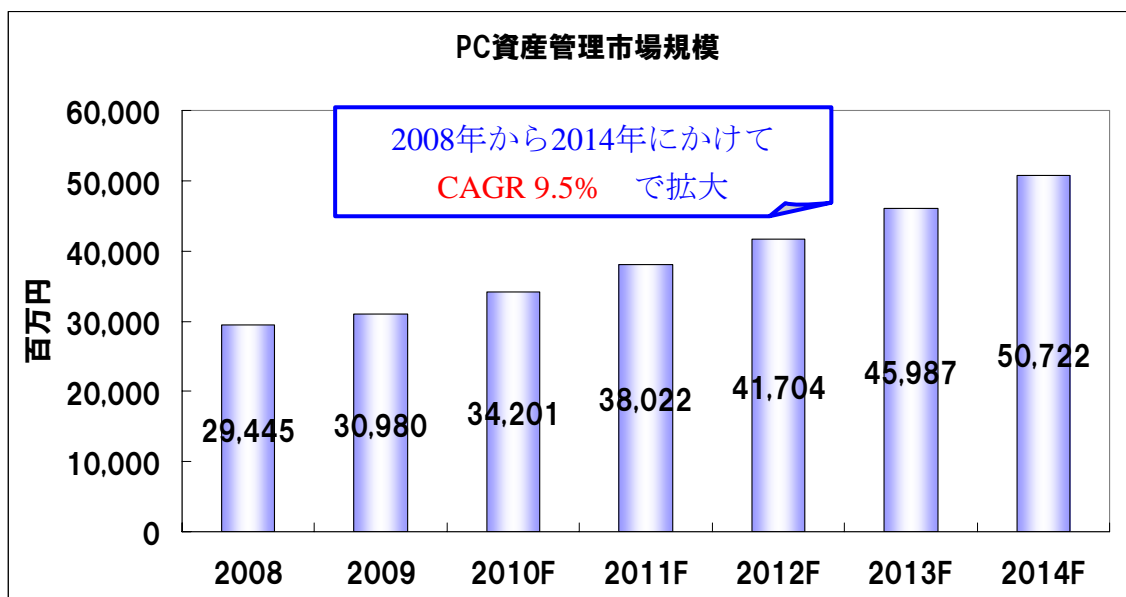
対応として PC 資産管理ツールに対する需要も旺盛となっている。ソフトウェアライセンスの監査は大型企業だけが対象となっているわけではなく、100～150 人規模の中小企業においても内部告発などを発端として対象になるケースが多々あり、無視できるものではなくなってきている。

これらのことを要因として、PC 資産管理市場は今後も拡大を続けることが予想されるが、その中で、参入ベンダーは何に対して投資をすることで最も効果的にこの市場におけるシェアを獲得していくことができるのだろうか？

本レポートでは、この答えを導き出すために 30 社以上の参入ベンダーに対するヒアリングとユーザー調査に重きを置き、独自の視点で分析を加えています。

本調査の結果では、PC 資産管理市場において他社との明確な差別化を図りながら今後のシェア拡大を図る方法論が明らかになっています。

PC 資産管理ソフトウェアの出荷実績及び市場分析、2010 年～2014 年までの予測はもちろん、参入ベンダーの動向を明らかにしたベンダー個票や、SaaS 展開の可能性にまで踏み込んだユーザー調査も実施しております。



**【リリース及び資料のお問い合わせ先】**

株式会社 テクノ・システム・リサーチ

第1グループ 藤崎 武志 (fujisaki@t-s-r.co.jp)

Tel: 03-3851-5651